

草津白根山

○概況(平成16年6月)

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

地震活動に大きな変化はなく、火山性微動は観測されませんでした。

火山活動によるとみられる地殻変動は観測されませんでした。

○地震活動の状況

地震活動に大きな変化はなく、火山性微動は観測されませんでした。(表1、図1)。

表1 草津白根山 火山性地震日別回数表

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	6

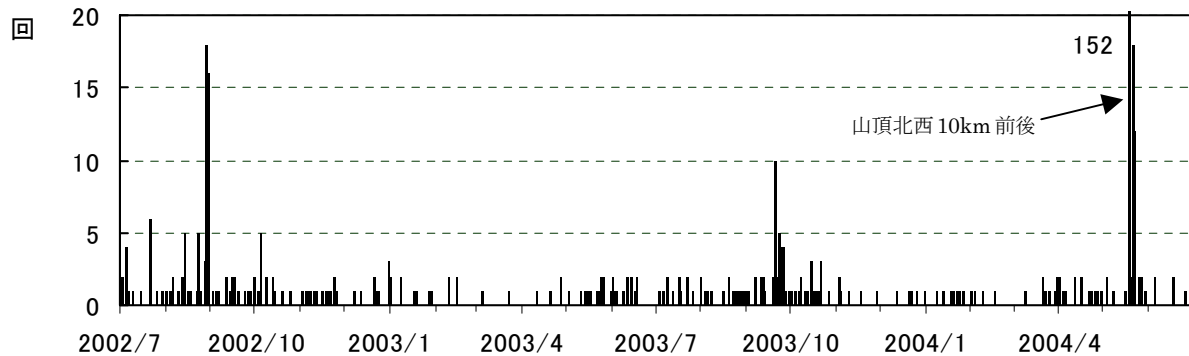


図1 草津白根山 火山性地震日別回数 (2002年7月1日～2004年6月30日)

○噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴気は観測されませんでした。

○地殻変動の状況

GPS観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした(図2)。

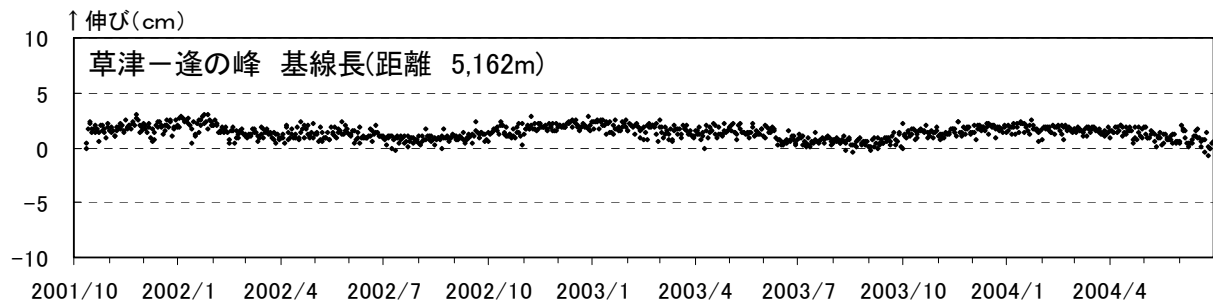
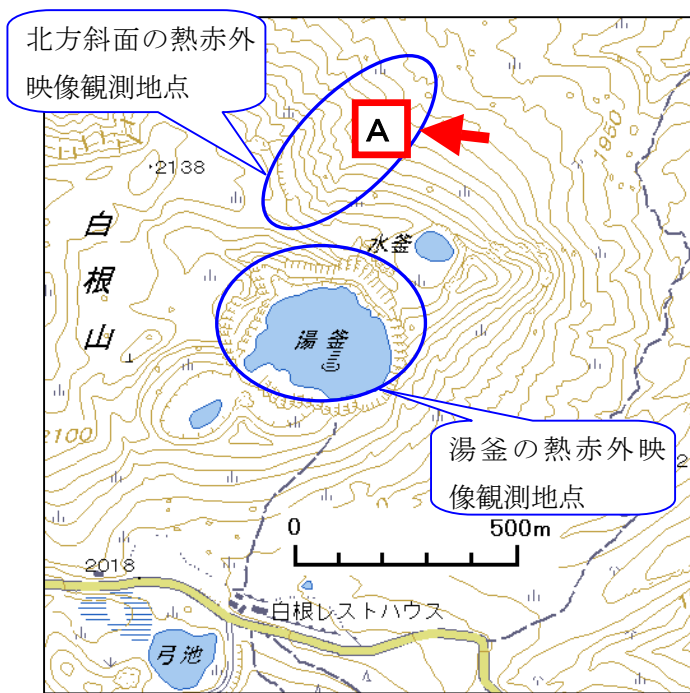


図2 草津白根山 GPS観測結果(基線長変化) (2001年10月1日～2004年6月30日)

○温度観測

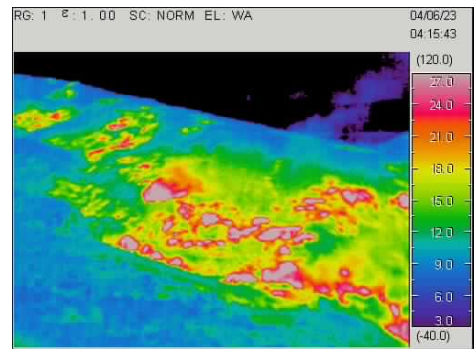
6月22日に湯釜北方斜面地帯（図3のA）において、サーミスタ温度計を使用した噴気温度観測を実施しました。最高温度を示す噴気孔の温度は115°Cで、前回（2003年10月）の109°Cに較べやや高い値となっています。この温度は2002年以降上昇の傾向を示しており（図5）、引き続き今後の推移を見守る必要があります。

また、北方斜面（23日）、湯釜火口（24日）で実施した熱赤外映像装置による観測では、地温及び湖水面の温度分布に特段の変化は見られませんでした（図4）。



- A : 噴気温度観測点
- : 熱赤外映像観測領域
- ← : 北方斜面の熱赤外映像観測の方向

図3 草津白根山 温度観測地点



- 上: 熱赤外映像 下: 実画像
- は最高温度を示す噴気孔の位置

図4 草津白根山 北方斜面の地表面温度観測
上: 熱赤外映像装置による温度分布
下: 上図とほぼ同じ範囲の可視画像
(いずれも2004年 6月23日04:30撮影)

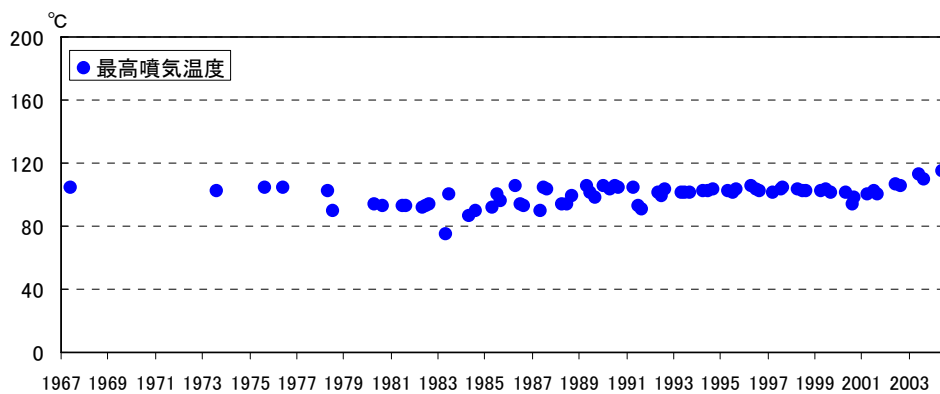


図5 草津白根山 北方斜面最高噴気孔温度

○湯釜湖面の状況

6月22日～25日に実施した機動観測中に湯釜の状況を確認しました。

機動観測の期間を通じ、湖面中央から東側にかけて、環状及び直線状に薄い黄色の硫黄が浮遊していました(図6)。

湖面の色は、通常どおり青みがかった乳白色でしたが、1982、1983年に水蒸気爆発のあった付近では、湖水が灰色に濁っているのが確認されました。さらに、灰色の変色水の周辺では湖面が微かに波立って見える時もあり、下から湖水が湧き出している可能性があります。

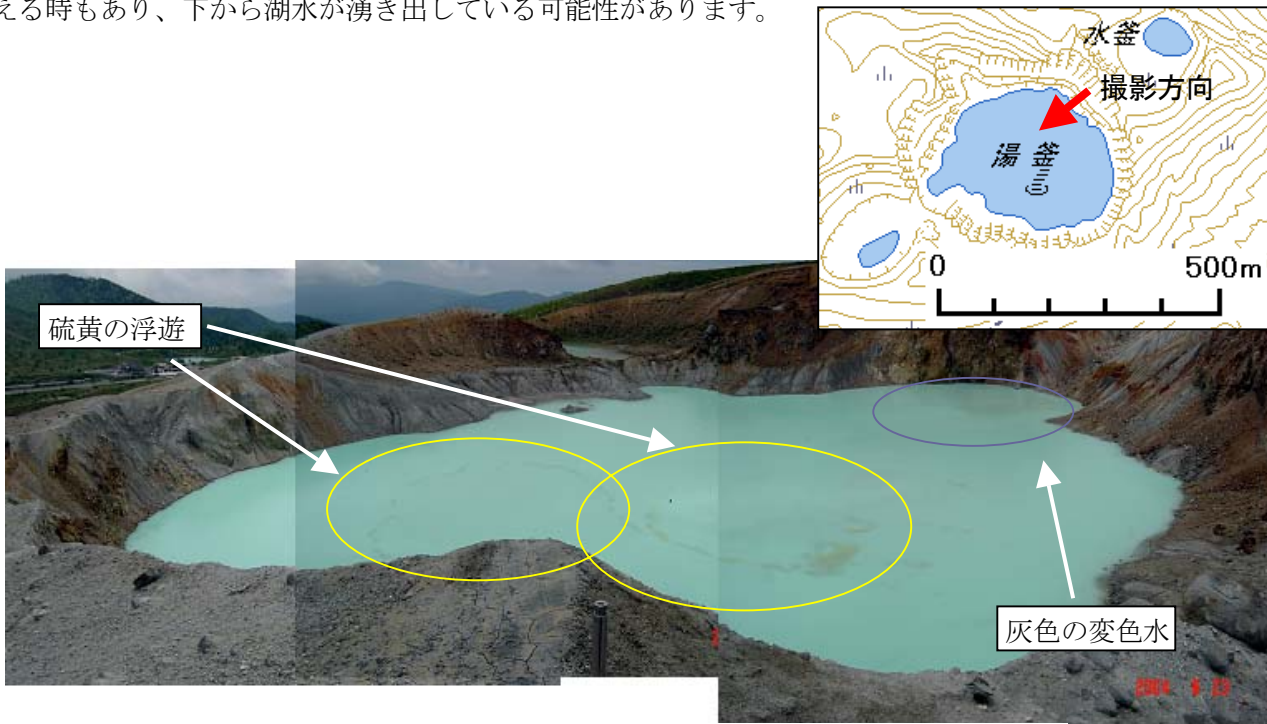


図6 草津白根山 湯釜湖面の状況(2004年6月23日撮影)

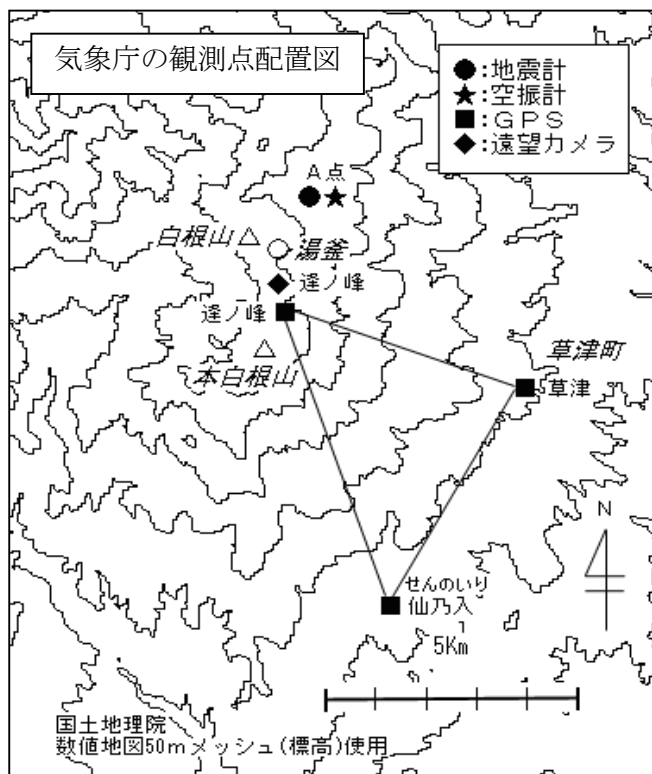


図7 草津白根山 気象庁の観測点配置図